

公共施設マネジメント戦略会議・平成30年度第3回会議 報告

- 日 時：平成30年6月19日（火）14：25～14：55
- 場 所：災害対策本部室
- 資 料：別添のとおり
- 出席者：上地市長（委員長）、永妻副市長（副委員長）、田中副市長（副委員長）
各部局長など委員 計31名
（代理出席：資源循環部長→資源循環総務課長、消防局長→消防総務課長）
- 内 容：＜議題＞
 - ・ FM戦略プランについて

概 要

1 開 会

2 議 題

○議題（1）「FM戦略プランについて」

事務局が内容を説明。説明の概要は以下のとおり。

＜FM戦略プランについて＞

- ・ （1）前回会議からの骨子素案の主な修正点について
修正点は主に3点で、①章立てを修正した事、②現状や将来像について、前回、貸室やホールについてのみの記載から他の施設についても追記した事、③6～8章について、前回まで数行の箇条書きだったものを記載イメージとして追記した事である。
- ・ （2）今後の予定について
昨日の市議会特別委員会と本日のこの会議でいただいた意見を反映したものを、7月30日開催の外部有識者等による「FM戦略プラン検討委員会」に骨子案として提出する。

＜横須賀市FM戦略プラン検討委員会について＞

- ・ 6月1日付けで、委員会を設置した。委員は8名で、うち、市民は4名となる。
- ・ 7月30日（月）の午後2時から、第1回委員会を開催し、引き続き記載のような予定で開催していく。

＜FM戦略プラン【骨子素案・平成30年6月18日版】について＞

- ・ 3ページでは、中段の「（4）対象施設」について、前回まで未確定だった市民生活に影響のある施設・少ない施設の「線引き」を行い、本計画の対象となる施設を「307施設」とした。
- ・ 6ページ中段の「公共施設等総合管理計画における更新費用推計」の図に、今回、直近の5年間、平成26年度から平成30年度までの平均額に時点修正をおこなった結果（約76.1億円）を①の点線のラインで示した。これは、平成29・30年度予算に「ごみ処理施設建設

関連の事業費」が、2か年で約112億円含まれるため、必然的に5か年の平均額も大きくなるもの。そのため、図では、前回示した、平成24年度から平成28年度までの平均額との両方をグラフに記載した。

- ・ 7ページからの「第2章 公共施設の現状」には、前回まで未記載だった公共施設全般について、追記した。
- ・ 15ページから19ページの「3 機能別で見た現状」「(1) 利用者エリア別」では、各エリアのそれぞれで、施設が持つ「主な機能」ごとに新たに加わった施設を分類し、「施設間で類似・重複した機能があるか、或いは固有の機能であるか」の視点でも区分した上で、表にまとめた。
- ・ 29ページ中段以下(3)のカテゴリー名称を、前回の「集いの場」から、多世代が共有する時間・空間を映し出すという意味合いを込め、「社会の場」に修正した。
- ・ また、「目指すまちづくりの方向性」に該当しない学校、病院などの施設は、前回まで、単機能の「その他の施設」としていたが、3つのカテゴリーに続けて、「(4) その他市民生活機能」とし、30ページの①～⑥のとおり、子育ての場、教育の場、保健・福祉の場、暮らしの場、憩いの場、行政機能に細分類を行った。
- ・ 31～40ページの「2 カテゴリー別に見た将来像」については、分類した施設カテゴリー別に「施設の将来像」及び「該当施設の現状」を表にまとめ、示した。この部分は、各部局へ事前照会したものを基に、事務局側でまとめた。
- ・ 49ページの「第6章 公共施設の維持・更新費用の縮減手法」として、費用の縮減においては、施設を整備する段階から、今後の人口規模に合わせた整備面積とすることや、デザインよりもライフサイクルコストの軽減を意識した建物仕様とすることなど、また、施設の維持管理においては、民間事業者からの提案を取り入れ、手法を検討することや、複数施設での委託の包括化や仕様の統一化などを検討する旨を記載した。
- ・ これらの取り組みによる効果の具体的な目標値(推計値)の設定については、外部有識者等で構成される「検討委員会」での検討を踏まえ、行う予定としている。
- ・ 51ページの「第7章 再編の牽引役となるリーディングプロジェクト」において、前回までリーディングプランという表現だったが、FM戦略プランや再興プランと混同しないように、プロジェクトという表現に改めた。
- ・ また、前章までの「更新・再編の手法」や「維持・更新費用の縮減手法」に基づき、「公共施設の将来像」を実現するための計画期間中の具体的な取り組みとして、プランの方針を早期に発揮させる取り組みである「6つのテーマ」と、再興プランに位置付けられている「3つの事業」を記載した。
- ・ 53ページの「第8章 計画の推進手順・進捗管理」では、再編の検討について、①耐震性がない等、施設の安全性や老朽度に課題がある、②市民のニーズと市の供給のバランスが大きくかい離、③周辺地域で再開発案件があるなど、公共施設に影響をもたらす案件が浮上、などの条件に当てはまる施設について、優先的に着手するものとした。
- ・ また、その検討手順については、第4章の将来像等に基づき、地域単位や機能単位などで、施設の「グルーピング」を行い、そのグループ単位で、市民意見等を聴取しながら検討を進めていくことを基本とすることを考えている。

< FM戦略プラン審査特別委員会における主な意見等について >

- ・ 昨日の特別委員会における、主な意見とその考え方を計画の章ごとに整理した。

< 質疑等 >

- ・ 第8章のタイトルと記載内容が違うような気がする。計画の推進手順と進捗管理の話なのに、更新・再編の検討時期の手順が記載してあり、これから再興プランに基づいた戦略プランを展開していくという論がくるはずなのに、ここで急に再編の考え方がくるのに違和感がある。第8章のタイトルは計画の推進手順なのだから、違うことが書かれるべきなのではないかと思った。
- ⇒ 第8章の内容とタイトルが合っていない部分については、事務局で修正を考える。
- ・ 骨子素案3ページの(4)に記載の対象施設となっている墓地・斎場はインフラ施設であると思うので、対象外にならないのか。30ページで墓地・斎場が「暮らしの場」に分類されていることに違和感があるので。本プランの対象はあくまで整理統合が必要な施設に限った方が良いのではと思う。
- ⇒ 斎場については、建物というカテゴリーでいうと特殊な建物でもあり、今後の維持管理にも関わるものだと考えている。ただ、おっしゃるとおり、再編という意味でいうと墓地も含め固有な機能であると思っているので、今後事務局で検討していきたい。
- ・ 12ページの区分において、大エリア施設に配置している中央図書館と総合体育会館は全市利用施設ではないのか。また、中エリア施設に配置しているコミュニティセンターのうち、社会教育機能については生涯学習センターとほぼ同様の機能だと思うので、全市利用施設となるのではないのか。区分変更の検討は今後可能か。
- ⇒ 中央図書館と総合体育会館について、実際の使われ方はそのようであると思うが、機能として見た場合に大エリア施設として分散されていると考えれば、大エリアで良いと考えている。また、社会教育としての機能のコミュニティセンターについては、各センター同様にそのような機能を持っていると考えているので、生涯学習センターと機能が重複する部分もあると思うが、コミセン単体で見れば中エリア施設になるものと考えている。
- ・ 49・50ページに記載の6章1(1)で縮減の記載があるが、縮減をこの計画の中に実際にどのように位置づけていくのか教えてほしい。
- ⇒ 縮減の手法については、49ページの記載イメージのとおり、人口規模の減少に合わせて需要を見込んだ建て替えになるので、必然的に建替面積も少なくなると考えている。これは、施設をやめなくても自然に縮減できる部分ではないかと思う。
- ⇒ 目標の部分については、現在悩んでいるところ。縮減目標については、あくまでも「縮減目標」として進めるのか、取り組みにより効果がどのくらいになるのかという形ですすめるのかは、今後の有識者会議の中で意見を伺っていきたい。
- ・ 役割を終えた施設はやめていくということ、どこかに記載すべきだと考える。

- ・ 51 ページの「戦略プランの方針を早期に発揮させる取組み」と「横須賀再興プランの取組み」の関係性について、①と⑧の関係性を教えてほしい。また、「プラン」と「プロジェクト」で名称を変えたとのことだが、元々ある推進体制に影響はあるのか。
- ⇒ ①と⑧はかなり重なる部分があると思っている。ただし、⑧は再興プランの中で具体的なスケジュールが示されている。それを、このプランの中で11年間の取組みとして進める必要があると考えたため、⑧だけでなく①にも記載を行った。また、「プラン」と「プロジェクト」の名称変更による推進体制への影響は無いと考えている。

3 閉 会

これで本日の会議を終了する。

以 上